

「日本地すべり学会 令和6年（2024年）能登半島地震災害対応委員会 活動報告会」
開催について

令和7年7月28日
令和6年（2024年）能登半島地震災害対応委員会

下記のとおり、「令和6年（2024年）能登半島地震災害対応委員会 活動報告会」を開催します。これまでの災害対応委員会の取り組み、各研究部会の活動方針と合わせて、地すべり学会災害調査団報告、調査研究報告を行います。多数のご出席を賜りますようお願い申し上げます。

1. 日 時

2025年8月6日（水）13:00～17:00

2. 開催方法

ハイブリッド（対面70名、およびオンライン）

3. 場 所：

TKP 新橋汐留ビジネスセンター カンファレンスルーム 301（会場位置図参照）
東京都港区新橋 4-24-8 2 東洋海事ビル

4. 参加費：無料

5. 申込期間：2025年7月7日（月）～8月1日（金）

6. 参加申込フォーム：<https://forms.gle/na4ntryuDKCTiaEX8>

7. 問い合わせ先

法水 哲（日本工営株式会社 北陸事務所）

E-mail：a4783@n-koei.co.jp

7. プログラム

(1) 令和6年(2024年)能登半島地震災害対応委員会 活動報告

- ・ 13:00～13:10 開会挨拶：これまでの災害対応委員会の取り組み
委員会 代表 笹原克夫 (高知大学)
- ・ 13:10～13:45 「災害対応委員会研究部会活動方針」
 - ・ 研究部会①：詳細地形判読に基づく斜面変動分布図の作成と斜面変動プロセスの復元
インベントリー部会 佐藤 浩 (日本大学)
 - ・ 研究部会②：地震に対する地すべり災害危険性の簡便な評価手法の開発
杉本 宏之 (国立研究開発法人 土木研究所)
 - ・ 研究部会③：動的解析及び解析結果に基づく対策設計手法の適用性検討
藤元 亮 (日本工営株式会社)
 - ・ 研究部会④：能登半島地震およびその後の9月豪雨で発生した地すべり・崩壊の実態事例収集
横山 修 (国土防災技術株式会社)
 - ・ 研究部会⑤：変位による地すべり安定性評価
田中 康博 (応用地質株式会社)

(2) 災害調査団 能登半島地震活動報告

- ・ 13:45～13:50 開催挨拶 古谷 元 (富山県立大学)
- ・ 13:50～14:10 調査団A (珠洲：清水地区、仁江地区、大谷トンネル他)
村尾 英彦 (株式会社 村尾地研)
- ・ 14:10～14:20 調査団B (輪島東部：上田長地区、大久保地区)
大丸 裕武 (石川県立大学) 横山 修 (国土防災技術株式会社)
- ・ 14:20～14:40 調査団C (輪島西部：大野地区、市ノ瀬地区、地原地区他)
藤原 大佑 (五大開発株式会社)

(休憩) 14:40～15:00

(3) 調査研究報告

- ・ 15:00～17:00
- ・ 15:00～15:30 研究報告①「市ノ瀬地区で発生した崩壊性地すべりの特徴と発生要因」
杉本 宏之 (国立研究開発法人 土木研究所)
- ・ 15:30～15:50 研究報告②「機械学習を用いた地震地すべり発生箇所の特徴分析と危険箇所抽出手法の検討」
岡崎 丈 (日本工営株式会社)
- ・ 15:50～16:10 情報提供①「地震による大規模斜面変動のすべり面について～大久保地区・大谷地区を例として～」
横山 修 (国土防災技術株式会社)
- ・ 16:10～16:20 情報提供②「栗蔵層の凝灰岩について 地震時に発生した1現象の紹介」
橋爪 克典 (株式会社日研技術)
- ・ 16:20～16:40 情報提供③「地震による地すべりの事例と特徴的な地質性状について」
近藤 健二 (中部地質株式会社)
- ・ 16:40～17:00 情報提供④「鹿磯地区：砂丘堆積物の変動機構」
丸 晴弘 (日本工営株式会社)

17:00 閉会

【会場位置図】

